

こんにちは
教育委員です



発行:今金町教育委員の会
〒049-4393 北海道瀬棚郡今金町字今金48−1
TEL:0137-82-3488【No.62】H21(2009).3.19
E−mail:mitsuhiro.nakajima@town.imakane.lg.jp

平成21年第1回定例町議会
教育行政執行方針と一般質問

議会改革の一つとして今金町議会では初となる「ナイター議会」が３月１０日午後６時から開催され、町長の行政執行方針、教育長の教育行政執行方針及び一般質問が行われました。

平成２１年度教育執行方針の要約と一般質問の答弁の要約を紹介いたします。

〔教育執行方針の要約〕

□ 教育委員会の改革

１．今金町教育委員会外部評価委員会の委員２名を一般公募し、５名体制へ
２．教育委員会事務局に指導主事を配置

● 学校教育分野

１．確かな学力を育む教育課程の編成と実施
２．学校地域支援本部事業の推進
３．教職員の資質・指導力の向上
４．山村留学の継続と支援
５．特別支援教育の推進
６．生徒指導体制の推進
７．小学校における国際理解教育の推進



８．学校給食と食育（食農）ネットワークの推進
９．健康・安全に関する指導と登下校時の安全対策確保
10．幼稚園教育の推進



● 社会教育分野

１．社会教育専門職員の充実（社会教育主事３名体制へ）
２．家庭や地域の教育力の充実
３．芸術文化活動の推進
４．子ども読書活動推進と「読み聞かせ」の推進
５．国際交流の推進（本年度中学生のニュージーランド派遣）
６．生涯スポーツの振興（総合型スポーツクラブの設立に向け）



７．文化財保護の推進

□ 一般質問
「今金町における児童生徒の学力向上対策について」（村瀬　広議員より）

〔教育長答弁〕

全国学力・学習状況調査の目的は、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることをねらいとしています。

本町における調査への参加とその結果の取扱いについては、平成１９年１１月１日に制定した「全国学力・学習状況調査結果取扱要領」に基づき、教育委員会の議決を経て実施しております。



また、当面の公表に関する取り扱いについては、文部科学省、道教委の公表に対する考え方と同様に今金町情報公開条例の規定による非開示情報として取り扱うこととしています。

さて、昨年度から実施された調査結果の分析では、北海道は教科に関する調査において、小学校６年生及び中学校３年生の国語及び算数・数学のいずれにおいても、平均正答率が全国より低い傾向が示されています。



また、今金町の子どもたちの学力についても、調査結果の分析から決して安心できる状況ではない

ことから、過日、今金町校長会・教頭会・教育委員会の三者による「今金町確かな学力向上の為の検討委員会」を開催し、調査結果の分析や各学校で作成した学校改善支援プランの点検、今金町教育研究会としての取り組みについて検討し、将来を担う子どもたちの健やかな成長を願う保護者や地域の負託に応えるため、今後の方策についてそれぞれの役割と方策について共通理解を図ったところです。

教育委員会としても学校現場に依存するだけでなく、新年度より事務局に指導主事を配置し、子どもたちの日常生活における様々な活動がよりよいものとなり、学校・家庭・地域がそれぞれの機能を十分に発揮し、一体となった教育が推進されるよう努めてまいる所存であります。

委員寄稿「歳時記」



今月は、平井委員長職務代理です。

『門出に大志を』

三月弥生、別れと出会いの季節です。

悲しい別れもあれば夢を抱き、希望に満ちた別れもあると思います。

「一期一会」は、井伊直弼の著書「茶場一会集」にある言葉です。そもそも茶の交会は、一期一会といいて、例えば、幾たびも同じ主客と交会するもの、今日の会に再びかえざることを思えば、実にわれ一世一度の会なり。と言っています。現在のこの言葉は広く一般の人々にも知られるようになりました。同じ友に再び会える保証はどこにもない、会った時が別れの時ということです。一期一会とは、悲哀の感情でなく、積極的に豊かな人生を送ろうとする心構えなのです。





北海道大学の前身は札幌農学校で初代校長として来日したクラーク博士は、校則をつくるために、関係者は厳しい規則を持ち出したが、面倒な規則は作らなくて良い、「紳士であれ」この一言だけで充分と命令。自分自身を律する態度を持ち、誇りを極めて、しかも他人に思いやりのある温かい「紳士」である、真の人格を持った人間になれと言われたのでは、と思います。

やがて、クラーク博士が日本を去るにあたり「少年よ大志を抱け」の名言を残しました。若者よ、志を持った生き方をせよ、理想に燃えた気骨のある人間になれ、という別れの学生への激励の言葉です。



現代は自由と個性と権利を主張しながら、自己中心の生き方を求める者が多くなっていると思います。物に恵まれ便利な世の中なったが、心の病める者、犯罪は日毎に増えている。

その中で、大きな志を抱き、夢や希望に謙虚に、挑戦し、学び、精進し、感動し、幸せを克ち取り、心の救いを与えることが、望ましい生き甲斐であると思います。

このことが、本当の「大志」であり、この春、進学そして社会人として新たな一歩を踏み出す皆様には是非心にとめ、邁進いただきますようお願いいたします。